

# 平成31年第1回定例公安委員会会議録

開催日時 平成31年1月10日(木) 午前11時15分～午後2時50分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時15分

2 出席者

公安委員会 増谷委員長 小谷委員 衣笠委員

警察本部 佐野警察本部長 伊貝警務部長 灘部首席監察官  
青木生活安全部長 清水刑事部長 中林交通部長  
岸田警備部長 長田警察学校長 妹尾情報通信部長  
加藤警務部参事官

(事務局等～渡邊公安委員会補佐室長、村田広報官、小谷補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 初詣等における雑踏警備及び山岳事故防止対策等実施結果(生活安全部)
- 平成30年中の交通事故発生概況(交通部)
- 治安出動に係る警察と自衛隊との共同実動訓練(警備部)

(1) 初詣等における雑踏警備及び山岳事故防止対策等実施結果(生活安全部)

### 警察本部

主な神社、行事の人出は、宇倍神社では約5万人、賀茂神社では約3万4,000人、勝田神社では約5万人、水木しげるロードのイベントでは約4万3,000人となっている。水木しげるロードは、リニューアルしたことや夜間の歩行

者天国等により人出が多いことが予想されたため、管轄する境港警察署では、例年より増員して対応した。

神社及び主催者側に対する事前指導により、自主警備体制の強化、案内板の設置、夜間照明の確保、ソフトターゲット対策等、必要な事故防止対策を徹底するなど、事前広報や主催者側と連携した安全対策を行った結果、雑踏事故の発生はなかった。

平成30年12月29日、大山において、大山冬山パトロール隊の出発式と山岳遭難防止を目的とした広報を実施した。同日から平成31年1月3日までの6日間にわたりパトロールを行った結果、年末年始における山岳事故の発生はなかった。

#### 委員

大きな事故の発生がなかったのは、地道な活動の成果であると思う。平穩に年末年始を過ごすことができ、良かったと思う。

#### 委員

今後も山岳パトロールを実施すると思うが、特に、大山冬山パトロールは実施する警察官にも危険が伴うため、安全の確保には十分に気を付けていただきたい。

## (2) 平成30年中の交通事故発生概況（交通部）

#### 警察本部

平成30年中の交通事故による死者数は20人であり、前年比で6人減少した。これは、平成では、平成28年の17人に次いで2番目に少なかった。また、交通事故件数及び負傷者数は、平成17年から14年連続で減少した。平成30年中、飲酒運転による死亡事故の発生は2件であった。

高齢者が第1当事者となる交通事故の割合は、前年から1.9ポイント増加し、25.3パーセントであった。高齢者死者数は8人と、前年から25.4ポイント減少し、過去10年で最少となった。

交通死亡事故の発生状況については、平成29年中は、4月から6月の間に7人の方が亡くなられたが、平成30年中は2人と大幅に減少した。また、平成29年中は8月を除き毎月交通死亡事故が発生したが、平成30年中は0人の月が3回あった。しかし、平成30年の1月及び3月は、交通死亡事故が連続発生し、東部ブロックに死亡事故多発警報が発令された。

事故類型別では、車両単独による事故が最も多く、42.1パーセントを占めている。状態別では、運転中が最も多く60.0パーセントを占めている。昼夜別では、68.4パーセントが昼間時間帯に発生し、路線別では、国道、県道及び高速道路の幹線道路で事故が多発し、73.7パーセントを占めている。

交通事故減少の要因としては、関係機関やボランティアの方による長年の協力が非常に大きいと考えている。交通事故の発生を抑止すべく、引き続き、諸対策を推進していく。

#### 委員

交通事故件数は減少しているが、引き続き、高齢者に対する交通安全広報等を実施していただきたい。

運転時、ハイビームの活用について広報しているが、対向車がハイビームのまま走行し、危険だと感じることもある。

#### 警察本部

対向車や前方に車両がいる場合等は、法令でロービームに切り替えるなどの措置が定められていることから、広報に当たっては、適切なハイビームの活用について、ドライバーへの浸透を図っていく。

#### 委員

今後、鳥取西道路やはわいICの開通等で交通の流れが変わることが予想される。引き続き、交通事故の抑止に向けた諸対策を推進していただきたい。

### (3) 治安出動に係る警察と自衛隊との共同実動訓練（警備部）

#### 警察本部

1月16日、陸上自衛隊米子駐屯地において、自衛隊との共同実動訓練を実施する。

この訓練は、自衛隊に治安出動が下令される緊急事態を想定し、共同実動訓練を実施することにより、警察と自衛隊の連携の強化を図るとともに対処要領について検証する目的で行う。訓練には、鳥取県警察、島根県警察及び陸上自衛隊から合計約155人が参加予定であり、緊急輸送、現地共同調整所の設置訓練等を予定している。

なお、情勢によっては、訓練を中止することもある。

#### 委員

昨今の国際情勢から、あらゆることを想定しておくことが必要であるので、日頃から訓練を行い、関係機関と情報共有をしていただきたい。

#### 警察本部

訓練等を通じて関係機関との連携を強化し、有事の際は適切に対応できるようにしたい。

## 5 その他

### 第2 その他の公安委員会活動

#### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取9件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

#### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

#### 3 事前説明

平成31年度定員・組織改正の概要

#### 4 報告事項

県下警察署長会議について

#### 5 決裁

認知機能検査の実施に関する規程の一部を改正する規程

#### 6 警察本部との昼食会

警察本部との昼食会に、本部長、警務部長、首席監察官の出席を求め、意見交換を行った。

#### 7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

#### 8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。